

2021年12月21日

各 位

会 社 名 東京センチュリー株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 野 上 誠  
(コード番号 8439 東証1部)  
問 合 せ 先 広 報 I R 部 長 山 下 圭 輔  
(TEL03-5209-6710)

### 英国の系統用蓄電事業（100MW）への出資参画

当社は、日本工営株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明、以下、「日本工営」)の完全子会社である Nippon Koei Energy Europe B.V. (本社：オランダ ロッテルダム CEO：鈴木雅登) が、英国南東部の Tollgate および Cuxton において実施する 100MW の系統用蓄電事業に出資参画することになりましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

本事業は、当社、日本工営、テス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：高崎敏宏）、東芝三菱電機産業システム株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：山脇雅彦、以下、「TMEIC」）、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：辻田泰徳）の日系企業5社が参画し、各社の出資および融資により系統用蓄電事業を実施する初の事業となります。

本事業は、TMEIC製の蓄電システムおよび日本工営製の制御装置（NK-EMS）を用いて、英国の大手送電会社 National Grid が運用する送配電系統に接続し、電力系統の安定化（アンシラリー）サービスを系統運用者に提供いたします。2021年12月に建設を開始し、2023年春頃の商用運転開始を目指しております。

英国は、再生可能エネルギー電源比率の増加から電力系統安定化のニーズが高まっており、系統運用会社に調整力を提供する系統用蓄電システムの導入が進められております。本事業は、英国の電力系統に接続する大規模システムであり、電力系統安定化に貢献いたします。

当社は、国内外のパートナー企業との共創による『金融×サービス×事業』を融合した独自のビジネスモデルを展開しており、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー事業の拡大に注力しております（2021年9月末現在629MW）。また、日本工営がアグリゲーター\*となっている、「令和3年度蓄電池等の分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業費補助金（再生可能エネルギー発電等のアグリゲーション技術実証事業のうち再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業）」に太陽光発電の各種データを提供するアセット・オーナーとして参加するなど、将来の国内VPP事業の展開等にもつながる蓄電池事業の発展に、金融・サービス企業として積極的に取り組んでいく考えであります。

今後とも、需給調整市場や FIP（Feed-in Premium）制度、出力制御対策等、蓄電システムを活用することにより、再生可能エネルギーの拡大ならびに収益性・信頼性向上に注力し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※アグリゲーター：需要家の需要量を制御して電力の需要と供給のバランスを保つ、デマンドレスポンス（DR）において、電力会社と需要者の間に立ち電力需給バランスをコントロールする事業者



以上